

NPO 法人住まいのホームドクター／設計者の会
460-0017 名古屋市中区松原 1-17-6 朝日軒ビル3階

HD ニュース

No. 74
2019. 7. 15

今後の予定／於：事務所会議室

- 7月16日(火)18:00～マンション・ビル大規模修繕研究会
- 7月16日(火)19:00～ 研修会
- 7月18日(木)18:30～ 三役会
- 7月28日(日)・29日(月) 研修旅行(飛騨方面)
- 8月1日(木)18:30～ 役員会
- 8月20日(木)18:00～ 相談委員会

HDニュースの掲載記事について

副理事長 森 登

HD ニュースの毎月発行に向けて、会員の皆様に寄稿いただいています。お忙しい中誠にありがとうございます。

HD ニュースは、会員・谷川照雄さんのご尽力で当会のホームページに毎回アップされます、重ね重ねありがとうございます。

皆様から寄稿いただいたニュースの内容について、少々気になる事がありますので、この場を借りて皆様にお伝えさせていただきます。

原稿は、誤字・脱字など以外は基本、校正の対象外としています。ホームページにアップしたニュースを閲覧する方は、建築関連の方々は勿論ですが、「ホームドクター」というキーワードにより、一般素人の方々もニュースを閲覧されます。ですから、それを踏まえた上で、誤解が生じないような表現に努めなければなりませんし、出来るだけ分かりやすく端的に表現する必要があると考えています。

◆下記のような場合は、内容・構成を再検討いただきますので、お許し下さい。

- ① 掲載記事の中に、会員（寄稿者ご自身以外）の仕事上の情報を載せることはできません。本人の了解があれば別ですが、プライベートなデリケートな部分を含みますし、会員以外の方がホームページ上でこの部分を読んだ場合、誤解を生じさせる可能性が高いので、避けてください。文章の内容を変更していただくこととなりますので、ご了解ください。
- ② 記事の対象について、公になっている 或いは承認・了解が取れている場合は別ですが、そうでない場合は、原稿をそのまま掲載することについて、ご遠慮いただきます。一方、「どうしても掲載したい」という場合は、原稿を読んだ会員以外の方から異を唱えられることを想定し、きちんと説明

できるように理論武装をお願いします。この場合当会では責任が取れかねますから、自己責任でお願いします。掲載についてはできればご自身のホームページなど、ほかの媒体にて記事とされた方が良いと考えます。

◆HD ニュース 73 号の校正が不十分でした（どういう訳かは不明です）。この場を借りて校正内容をお伝えさせていただきます。

○ドローンに依る建物調査の見学会について

- ① 3 頁目左列上段・写真の左付近「コーキングや躯体の亀裂は、雨に濡れると含水するので、雨が降った後の方が見逃しにくい」という部分の意味は「降雨に伴う含水によりコーキングや亀裂部の温度は降雨後でも低温のままだが、一方躯体部は降雨後の太陽熱により温度が上昇する＝その部分に赤外線カメラを当てると温度差を示す色の違いとなっはつきり表れるので、結果コーキングや亀裂の存在を発見しやすい、ということです。
- ② 赤外線撮影の「マイナス面」とは「補修が必要な部位が判明する＝補修費用が必要になってくる」ということです。「プラス面」とは「効果が持続している＝改めて費用を掛ける必要が無いことが判明する」ということです。
- ③ 3 頁目右上の赤外線画像について、説明文のどれに該当するのかを矢印などで分かりやすくする予定でした。
- ④ 3 頁目右下ドローンの効果については、修繕後 3 年或いはそれ以降の点検に際し、足場を掛けることなく補修部位の状態を確認できる＝補修工事の確実さがおのずと工事業者に求められる、ということがあります。

以上のような校正内容であれば、素人の方でも概ね判ると思いますが、いかがでしょうか・・・？

○木造技術研究会：見学会の中止報告について
「参加者が少なかったため」とありますが、そうではなくて、そもそも見学会の案内が不十分だったからです。

どこへ・どのようなタイムスケジュールで・どの

ような目的で見学会を開催するのか、全く不明でした。このような乱暴で失礼な案内は無い。「参加者が少なかったため」とは、責任転嫁もいいところです。関係者の猛省を求めます。

欠陥住宅被害東海ネット代表に瀨瀬誠会員が就任

浅井洋樹

本年4月より、当NPOの瀨瀬誠会員が「欠陥住宅被害東海ネット」の代表幹事に就任することになりました。

欠陥住宅被害東海ネットとは、欠陥住宅被害の予防や回復を目的に1999年11月に結成された団体で、瀨瀬誠会員の代表幹事就任は、長らくこのネットに在籍し、数多くの欠陥住宅問題に取り組んでこられたことによるものです。それまでは、弁護士が代表幹事を務められており、建築士は初の就任です。

皆さんご存知の通り欠陥住宅問題は、一時はテレビなどのメディアで扱われなくなっています。しかしながら世間から欠陥住宅が減ってきているのかというところではありません。横浜のマンション杭問題、東洋ゴム免震装置偽装問題から近年はレオパレス施工不良問題など、決して減少しているとは思われないのが実情です。そしてそこには残念ながら建築士が何某かの形でかかわっていることも事実です。

我々ホームドクターの会に所属する建築士は自ら欠陥住宅をつくりださないことも当然ですが、一般消費者が欠陥住宅をつかまされたりしないようにする予防的活動にも、より一層力を入れてゆく必要があると考えます。

■相談委員会 6/20 18:00~18:30

HD ニュースに相談記事として掲載する場合の注意点。7・8月の無料電話相談の担当決め。

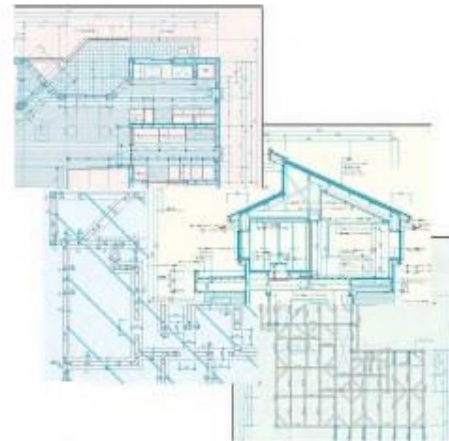
既存住宅調査技術部会：大垣案件について。情報共有の在り方について。

■木造技術研究会 6/20 18:30~19:30

テキスト『ヤマベの耐震改修』山辺豊彦 発行：エクスナレッジ 3,024円 読み合わせ担当の分担。

これから家を建てるみなさまへ

～欠陥住宅をつくらせないために～



欠陥住宅被害東海ネット

『これから家を建てるみなさまへ～欠陥住宅をつくらせないために～』

2019年4月19日 欠陥住宅被害東海ネット発行

研修旅行のご案内

7月28日(日)・29日(月)金山イオン前8時集合

参加費 32,000円

飛騨市古川町の国登録有形文化財料亭旅館「八ツ三館」に宿泊、古川町散策。加子母・下呂の建築探訪など。詳細はメールをご確認下さい。

参加希望の方は、事務局までお申し込み下さい。

